

### 第 61 回 卒業式 の 風景

令和 8 年 3 月 掲 載

3月3日(火)、あいにくの雨の中、第61回卒業式が卒業生・保護者、2学年の全生徒臨席の元、執り行われました。

私の式辞を紹介します。『皆さん 本校の校訓3つを答えることができるでしょうか。また、その意味を考えたことはありますか。心身をつよくなる。実践をとうとぶ。至誠をつらぬく。の3つです。

「心身をつよくなる」とは、何事も目標を達成するためにはセルフマネジメントつまり自己管理できるようになりましょうということ。

「実践をとうとぶ」とは、実験・実習など実践を通して知識・技術を習得することの尊さの中で、自ら体感し、五感を駆使して物言わぬ生き物と対峙しながら対話を重ね、的確に状況を把握して、思考・判断を行い、課題解決のプロセスの結果、適切な対応ができるようになりましょうということです。

「至誠をつらぬく」とは、真心を持って偽りなく、まじめかつ責任感を持って生き物に接していく意識と態度を持ち続けましょうということだと私は解釈しています。

卒業生の皆さんに問います。3年間で校訓が示すように本校が目指すべき姿を身に付けることができましたか。実践できずともしっかりと心に刻むことができたの

なら校長としてはたいへん嬉しいです。皆さんの入学時、私から「いつの日にか一人ひとりが個性的で、素敵な花を咲かせ社会に出てからは成熟して稔りを迎え、次世代に継承するための種を結実することを望みます」と話しをしました。今現在の皆さんはいかがでしょう。まだ開花していない人が多いかとは思いますが、この中農という栽培環境で培った生命体として、必ず今後 開花・結実することができるでしょう。卒業という大きな区切りを経て自信を持って次のステージに向かってください。』165名の卒業生に送りました。

卒業生の今後の活躍を期待します。



伝統ある本校の校旗



今年の飾花も凝っています